

【平成 28 年度申請者履修科目】・浜松キャンパス

防災マイスター称号取得の対象となる科目は、以下の科目です。認定のためには、必修科目 3 単位、選択必修科目から 4 単位以上、選択科目から 5 単位以上の合計 12 単位以上の取得が必要となります。

学部・学科	科目名	単位	年次	担当教員
<b>●必修科目 (3 単位)</b>				
学際	リスクコミュニケーション	2	2 年	小杉素子ほか
学際	防災科学実習 (通年)	1	3 年	岩田孝仁ほか
<b>●選択必修科目 (4 単位以上)</b>				
全学(浜松)	地震防災	2	3 年	前田恭伸ほか
学際	静岡県での防災・減災と原子力	2	3 年	大矢恭久ほか
全学(浜松)	地球科学	2	3 年	岩崎一孝
工学部	安全工学	2	3・4	戸田三津夫
工学部	安全工学	2	3・4	山下光司
<b>●選択科目 (5 単位以上)</b>				
工・機械工学	材料力学 I (必)	2	1 年	矢代茂樹
	確率・統計 (必)	2	2 年	岡本正芳
	環境工学 (選)	2	3 年	齋藤隆之
	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
工・電気電子	確率統計 <情報エレクトロニクス(必)> <エネルギー・電子制御(選)>	2	2 年	岡本正芳
	数値シミュレーション <情報エレクトロニクス(必)>	2	3 年	杉浦敏文
	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
	技術者倫理 (旧カリ：必，新カリ：選)	1	4 年	橋本 岳
	センサ工学 <情報エレクトロニクス(選)>	2	4 年	坂田肇
	電気法規および施設管理 <エネルギー・電子制御(選)>	2	4 年	宇佐見英三
工・電子物質	環境工学 <電子物理デバイス(選)> <材料エネルギー化学(選必)>	2	3 年	須田聖一
	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
	数値計算法 <電子物理デバイス(選必)>	2	3 年	荻野明久
	技術者倫理 <材料エネルギー化学(選)>	1	3 年	松本曠世
工・化学バイオ	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
	技術者倫理 (必)	1	3 年	松本曠世
	移動現象論 I <バイオ応用工学(選)> <環境応用化学(必)>	2	2 年	立元雄治
	環境化学 <環境応用化学(必)>	2	2 年	佐古猛
工・数理システム	確率統計 (選)	2	1 年	岡本正芳
	リスク分析 (選)	2	3 年	前田恭伸
	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
	技術者倫理 (選)	1	3 年	関谷和之
情報学部	統計学入門	2	1 年	荒木由布子
	社会モデルおよびシミュレーション (新カリ：社会モデル)	2	2 年	西原 純
	社会調査論 (新カリ：社会調査法)	2	1 年	仲 正樹
	地理情報システム論 (新カリ：環境・地理情報システム論)	2	2 年	岩崎一孝
	コミュニティ・デザイン論	2	2 年	笹原 恵ほか
	web デザイン論	2	2 年	杉山岳弘
	都市デザイン論	2	2 年	西原 純
	都市・地域政策論	2	3 年	西原 純ほか
	自治体行政論	2	3 年	笹原 恵
学際	わが街・浜松の市政	2	2 年	中澤高師

●履修上の留意事項

- ・必修科目については、学際科目の「リスクコミュニケーション」および「防災科学実習」を履修すること。
- ・選択必修科目については、全学共通科目「地震防災」、「地球科学」、学際科目「静岡県の防災・減災と原子力」、工学部科目の「安全工学」から4単位以上履修すること。
- ・選択科目については、原則としてそれぞれの学部で設定されている選択科目および学際科目から5単位以上を履修すること。
- ・上記科目で既に履修した単位は、称号認定のための単位として認められる。
- ・科目によっては隔年開講のものがあるので、時間割をよく見て履修計画を立てること。
- ・この一覧表は平成 28 年度申請者用です。他年度の申請者は自分の申請した年度の一覧表を参照すること。
- ・選択必修科目を 4 単位を超えて履修した場合、その超えた単位は選択科目の単位とすることができる。  
(例：選択必修科目 6 単位履修の場合は 2 単位を選択科目の単位とすることができる。)